

大山街道アクションフォーラム 運営委員会を立ち上げました!

5回の準備会を経て、
立ち上げました

こんな役割を担います!

・大山街道アクションフォーラムの企画・運営

大山街道アクションフォーラムでは、これまでも自由な参加の場として、大山街道のまちづくりにおけるさまざまなアイデアや活動が生まれてきました。それらをより有効に、効率的に実行していくため、運営委員会が大山街道アクションフォーラムの企画や運営の方針を検討します。

・大山街道ふるさと館など地域の拠点の活用についての検討

平成26年度に指定管理者(管理を代行する民間事業者)の切り替えが行われる大山街道ふるさと館や、その他地域にある拠点について、地域に根ざした活用のあり方を検討します。

・地域の団体との連携について検討(大山街道活性化推進協議会・町会など)

これまでもさまざまな団体・立場の方々大山街道アクションフォーラムにご参加いただきましたが、今後より一層密に連携を取って、取り組んでいくことを目指します。

大山街道アクションフォーラムは、高津大山街道マスタープランの取組みの一環として、地域の方々や団体、行政が集い、連携することにより、それぞれでは不可能なことを実行に移し実現を目指していく場

来年度以降の大山街道アクションフォーラムの流れ

情報発信や大山みちまち探検隊など、地域活動を行っていくとともに、大山街道ふるさと館の活用について、具体的な検討を行い、より地域に根ざした運営体制づくりを提案していきます。

ステップ0

～平成20年度
高津大山街道
マスタープラン
策定

地域の方々と行政の
協働で策定しました。



ステップ1

平成21、22年度
大山街道アクション
フォーラム誕生

誰もが参加しやすい場として、
さまざまな成果を上げました。

- ・多世代交流まち歩き・マップ作成
- ・ポータルサイト、情報発信イベント
- ・ミニコミ誌の発行 など



ステップ2

平成23～25年度
より地域に根ざした
運営体制づくりを目指します

地域主体の運営体制づくりを
行います。
地域との連携を強化して、
若い人材が活躍できる環境を
つくります。



ステップ3

平成26年度～
自立と拠点確保
を目指します

アクションフォー
ラムの自立的な運
営とともに、大山
街道ふるさと館を
活用した地域に
開かれた拠点づく
りを進めます。

第10回 大山街道アクションフォーラム は初夏開催予定!

問い合わせ先: 高津区役所 地域振興課

【電話】044-861-3134 【ファックス】044-861-3103 【Eメール】67tisin@city.kawasaki.jp



オリジナル 鮎づくり
& 鮎かつぎ体験



大山街道
アクション通信 VOL.11



子どもワークショップ

たかつ大山みちまち探検隊

大山街道フェスタ



2月19日の第9回大山街道フェスタで、これまでのアクションフォーラムの活動を紹介する「パネル展示」と、大山街道界わいにお住まいのお母さんたちが中心となり企画した、「たかつ大山みちまち探検隊」の子どもワークショップを行いました!

大山街道にゆかりのある「鮎」をテーマに、「白いぬいぐるみに色を塗ってオリジナル鮎を作ろう!」「鮎かつぎを体験しよう!」の、2つの楽しいイベントを用意しました。当日は地域の親子連れはもちろん、楽しい雰囲気に興味を持たれた大人もご参加いただき、予想以上の大盛況!地域のお母さんたちによるお手製の249匹の「あゆぐるみ」たちは、おかげさまで色とりどりの「鮎」に生まれ変わりました!!



一生懸命つくりました!!



大山街道ふるさと館の『活用アイデア』を出しあいました！

第9回大山街道アクションフォーラムを開催しました！

平成24年3月13日に、今年度最後となる、第9回大山街道アクションフォーラムを開催しました。

今回は今年度1年間を振り返った後、平成26年度に指定管理者(管理を代行する民間事業者)の切り替えが行われる「大山街道ふるさと館」について、地域に根ざした活用のあり方のアイデアを出しあいました。

アドバイザー
明治大学・小林教授

最近「事前復興」といって、普段から地域の人と顔見知りであることで、震災時などにも助けあえるコミュニティのあり方が重要だと言われています。ふるさと館が音楽の発表の場であったり、シェアオフィスのように若者が常駐している場であったり、気軽に立ち寄れる場であると、地域に触れあいや、多様な魅力を生み出す面白い空間になるのではないかと思います。



地場産品を開発し、販売する拠点にしたい！

- 大山街道の歴史、商店街の商品、地域の人材を活かして、地域ぐるみで「高津らしい食」を開発し、販売したい。
- 「大山みちまち探検隊」で作られた「あゆぐるみ」を始めとして、“鮎”をテーマとしたまちのブランドづくりをしたい。
- “あゆちゃん”など、オリジナルキャラクターを作りたい。
- 地域の活動を支える地域通貨“アユ”を発行したい。
- B級グルメのコンペを開きたい。
- 地域の人に愛される場にしたい。

大山街道に関連した情報発信ができるようにしたい！

- 観光案内所としての機能を備えたい。
- ユビキタスやホームページなどを活用したい。
- 地域の活動の成果を発信したい。

地域の人々が常に集まれる場にしたい！

- 昼は子育て世代と高齢者が集う場所にしたい。
- 地域とつながりのない人が、昔遊びや勉強など自分が得意なことを地域の子どもに教えることができるような場にしたい。
- 中庭や屋上庭園でオープンカフェを開くなど、もっと有効活用したい。
- ミュージック・カフェ&バーを併設して、活用したい。

地域主体のまちづくりを手助けする機能を備えたい！

- 新住民の方でも祭りなど地域の行事に気軽に参加できるよう、橋渡しできる場にしたい。
- マンションなどにお住まいの新住民の方と古くから住んでいる住民の方との交流の場にしたい。
- 溝口と二子を結び付ける場として活用したい。
- 地域のさまざまな団体が出会い繋がる場にしたい。
- ふらっと立ち寄れるフリースペース、まちづくりカフェなどがある場所にしたい。

防災拠点としての役割も担ってほしい！

- 防災は地域で連携しないとできないことなので、普段から情報交換の場として活用したい。
- 役所に行かなくても防災情報が得られる場所にしたい。
- 災害時には情報発信の場にしたい。

地域の人やアーティストが創作や表現をするきっかけを提供する場にしたい！

- 岡本太郎や濱田庄司出身の街道なのだから、アーティストやデザイナーなど、センスのある人が集い、多くの人が訪れるまちにしたい。
- 灰吹屋のように、商店街のシャッターに絵を描いてもらいたい。
- シェアオフィスを置いて、さまざまな人が事務所を共有し、新しいことにチャレンジできる場所にしたい。
- 大山街道ふるさと館の正面の壁面や内部空間を使って、地域の人などのアート作品を展示したい。

大山街道出身の偉人の作品を、地域をPRするきっかけに使いたい！

- まちなかに岡本太郎に触れて遊べる鉄のレプリカを設置して、多くの人が大山街道を訪れるきっかけにしたい。
- 各商店や蔵に、濱田庄司の器を一点ずつ展示し、大山街道ふるさと館でそのマップを配り、大山街道をまるごと美術館にしたい。



あゆふおん!?